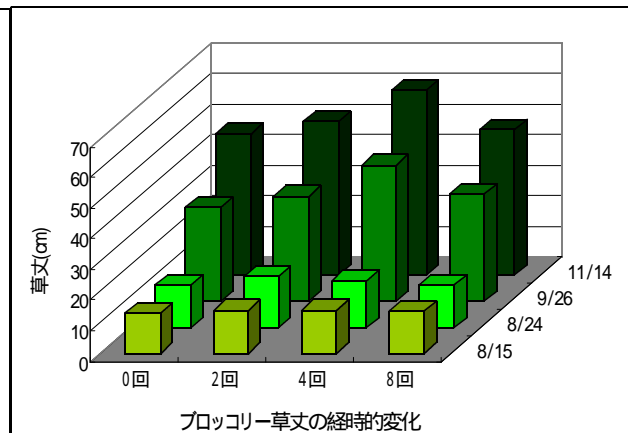
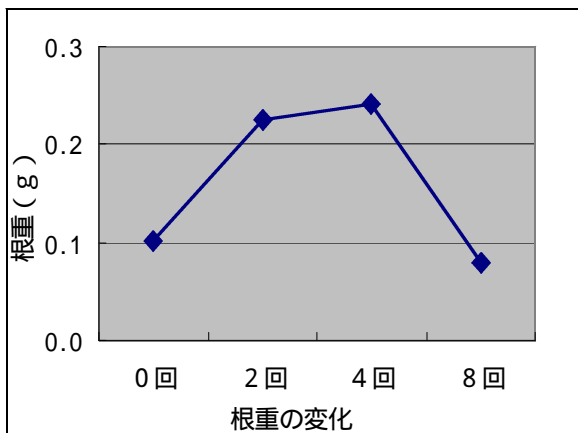


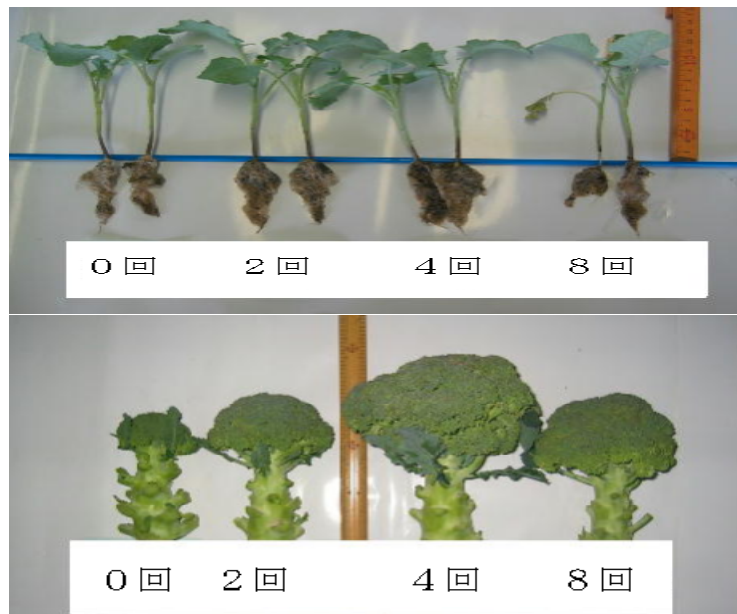
メタン発酵消化液の野菜苗への利用法

生ごみをバイオマスプラントでメタン発酵させるとメタンガスと消化液ができます。この消化液は窒素やリン酸、カリウムなどの肥料成分を含み、即効性の液肥として利用できます。

定植1週間前のブロッコリーのセル苗にこのメタン発酵消化液を1トレイあたり1回1リットル施用します。4回施用すると、苗の根重が倍増することがわかりました。施用した苗は、定植後の初期生育が旺盛となり、収穫期まで効果が続きました。ただし、過剰施用は生育を阻害するので注意が必要で、施用は4回までとします。



消化液を施用すると根重が倍増します。ブロッコリーは定植後生育が旺盛になります。



消化液の施用回数が多くなると苗に障害が発生するので施用は4回までとします。生育が促進され、収穫期が早まります。

(農林総合研究センター 戦略プロジェクト第2研究担当 TEL 048-521-5041)